

会議録

会議名	第1回 新郷土資料館整備基本構想・基本計画策定検討会	
日時	平成28年7月28日(木) 午後18時30分～20時40分	
場所	八王子市郷土資料館 集会室	
出席者氏名	参加者	新井勝紘、池上裕子、大森映子、合田恵美子、高橋洋、竹口君夫、内田和隆、及川真由美、唐沢靖、本田怜子
	説明者	中正由紀文化財課長(兼 郷土資料館長)、尾崎光二主査
	事務局	中村善行主査、河津美穂子主任、熊切唯主事 (株)丹青社 高橋、小杉、鈴木、丹羽
欠席者氏名	小野一之、柿崎博孝	
議題	(1)座長・副座長の選任について (2)新郷土資料館整備基本構想について (3)基本構想のスケジュールについて【資料2】 (4)基本構想の目次構成案について【資料3】 (5)基本構想第1章構成案について【資料4】 (6)その他	
公開・非公開の別	公開	
傍聴人の数	なし	
配付資料名	(1)会議次第 (2)新郷土資料館整備基本構想・基本計画策定検討会開催要綱 (3)八王子市郷土資料館リーフレット (4)【資料1】新郷土資料館整備基本構想・基本計画策定検討会参加者名簿 (5)【資料2】新郷土資料館整備基本構想スケジュール(案) (6)【資料3】新郷土資料館整備基本構想 目次構成(案) (7)【資料4】新郷土資料館整備基本構想 第1章構成(案) (8)【参考資料】整備スケジュール、土地の概要 (9)【参考資料】平成12年度「八王子新博物館(仮称)」建設基本構想について(答申) (10)【参考資料】平成20年度「八王子市総合情報館(仮称)」提言概要 (11)第2回検討会の開催概要	

会議の内容

<開会の挨拶>

事務局：部長に代わり挨拶をさせて頂く。来年は市制 100 周年を迎える特別な時期で、市長が郷土愛醸成を重視している。本年度から新郷土資料館の整備の基本構想・基本計画を策定することになった。どうぞよろしくお願いします。

<検討会参加者の自己紹介>

各参加者が自己紹介を行った。

<郷土資料館内（館内収蔵庫を含む）の見学>

事務局：館内を一通り案内する。建物は築 50 年。集会室はイベント全般を開催している。以前は隣室の集会室 B と連結できたが、現在は収蔵庫化している。常設展示室は 2 階が主に子ども向け。昔の山、畑、川のなりわいや日常生活の様子、まちの移り変わり、戦争について学ぶ。数年前から複数ある資料を数点触られる展示にしている。1 階は通史展示で、古い時代からまで順番に回って紹介する。地形模型は情報が古いが子どもには人気。中央エリアは車人形や八王子織物、昔の暮らしの体験コーナーとしている。

特別展示室は、夏は必ず戦争特集を行っている。

地下収蔵庫は 2 室あり、空調は無い。一方は考古資料や民具資料、未整理の資料を収蔵し、撮影室も兼ねる。他方は裏口の荷解き室横で、一番広い。民具を収蔵しているが満杯。荷解き室にも掃除前の民具を置く。

2 階の研究室も半分は収蔵庫化し、文書等を収蔵。集会室 B も文書を収蔵し、全て目録を整備している。特別収蔵庫は 24 時間空調管理し、資料保存のため二重鍵を付け、温度 25 度、湿度 50% を維持している。寄贈資料や刀剣、絵画などを収蔵。

また、屋外にはプレハブ収蔵庫があり、各地からの書籍を収蔵。他に旧稻荷山小学校などで民具等を収蔵。

参加者 A：開館から 50 年経って一番困っている点は何か。

事務局：昔のケースなので保存上良くない。エレベーターが一切無いので重い物が持ち運べず、バリアフリーでない。収蔵庫が満杯なので、寄贈資料を断ることもある、等が挙げられる。

<(1)座長・副座長の選任について>

事務局：検討会開催要項に基づき、座長、副座長を決めたい。立候補が無ければ事務局から座長を小野氏、副座長を高橋氏にお願いしたいが良いか。

全員：異議なし。

事務局：本日は座長が欠席のため、司会は副座長にお願いする。

会 議 の 内 容

<(2)新郷土資料館整備基本構想について>

事務局：基本構想では、まずどのようなことが必要かを検討する。整備スケジュールのように、今後、建物だけでなく展示も設計を行う予定だが、何年かかるかは未定である。市としては、刑務所用地に防災公園と歴史・郷土ミュージアム、ライブラリーの整備を考えている。今年度は基本構想、来年度は基本計画の予定。

<(3)基本構想のスケジュールについて【資料2】>

事務局：資料2の基本構想スケジュール(案)の通り、年末にパブリックコメントを行う予定のため、パブリックコメントで何を公開するかを10月初旬までの計3回の検討会で集中して協議したい。パブリックコメント案は4~8ページ程度の簡素な物を考えている。10~12月にパブコメ案の内容を市内で了解を得る手続きを行う予定。また、来年度の基本計画では、市制記念日の来年10月はじめに市長からイラスト公開を行うことが目標。

参加者 B：整備スケジュールの裏面の地図について、位置図を見ると四角や台形状の囲み(エリア)が計7カ所あるが、全てが医療刑務所の土地か。

事務局：大きいエリアが刑務所で、小さい所エリアは宿舍など。

副座長：敷地が斜面にあり、段差もあることが気になる。

<(4)基本構想の目次構成案について【資料3】>

事務局：基本構想の目次は、第1章から第5章、参考資料で構成することを考えているが、今後、内容やボリュームを変更する可能性もある。今回の検討会では、第1章の現状について議論したい。

参加者 A：答申はどのような扱いになるのか。また、今回の基本構想がゼロから検討するのであれば、最も基本的なことについて話をするのに、今後の検討会議のスケジュールでは時間不足ではないか。

事務局：もともと平成10年頃から新施設整備の話は出ており、当時の博物館協議会で移転整備の答申をまとめたが、当時の考えは、現在の市の目指す姿を見ると、変わった点もあるので、今回改めて検討したい。事務局としてもタイトなスケジュールだと思うが、会議開催の他、皆さんとメール交流などを交えて議論していきたい。

事務局：最終的には来年度末に最終的な形にまとめる。今年度は理念的なところを決めたいと考えている。

参加者 C：今回は比較的まとめやすいが、次回の基本理念は2時間で議論できるものか、心配している。

事務局：パブリックコメントでは、基本的なことを出して、皆さんのご意見を聞きたいと考えている。

副座長：まとまらなければ、会の回数を増やすこともできるのか。

尾崎主査：対応できるかどうか、検討する。

会議の内容

参加者 D：パブコメと市民へのヒアリングのタイミングはどうか。ヒアリングでは何を聞く予定か。パブコメは、少なくとも第 4 章まで含めるべきと感じたが、第 3 章までなのか。

事務局：パブリックコメントは今年 12 月から来年 1 月まで行う。市の条例は大体このような形を取る。また、市民へのヒアリングはパブコメとは別に、市民の方からご意見を頂く機会を作りたい。詳細は今後検討したい。パブコメにどこまで出すかは、今のところは目指す姿や基本的な機能などの大きな柱にとどめる方針。

参加者 C：「八王子市総合情報館（仮称）」の提言では、新しい公文書館について書かれているが、市史編さんに関する資料をどこに置くのかにも関わる。公文書館の整備は決まっているのか。

事務局：今回の基本構想案で、過去の検討経緯の説明で触れていたのも、参考資料として平成 20 年度の提言概要を出した。当時、公文書館の話は出たが、市の中で正式に決定したものではない。

事務局：公文書館を独立させることもあれば、図書館内などに併設することもある。

参加者 B：公文書館と郷土資料館の関係を知りたい。

事務局：まずは新しい郷土資料館は何を備えるべきかを考えていきたい。その流れで、公文書館の機能も必要という話が出れば、考慮すれば良いと考えている。

参加者 B：私の知識では、公文書館は設置する必要がある施設（部署）と思っていた。

事務局：全国でも、自治体により公文書館の扱いは異なっている。市の書庫に保管している例も多い。

参加者 A：今回の計画では、この建物の名称を「新郷土資料館」としているが、以前は「新博物館」とし、市長は「歴史・郷土ミュージアム」としている。とても大事なので議論すべき。

事務局：刑務所移転後用地活用計画では、あくまで郷土資料館の機能を移転する考えで「歴史・郷土ミュージアム」と表現したが、今のところは歴史系の博物館としている。

参加者 A：もう少し幅広い考えで名前をつけては、「ふるさと〇〇」など色々考えられる。

副座長：「TAKAO 599 MUSEUM」の名称はどのように決めたのか。

事務局：計画段階では「（仮称）高尾の里」だったが、市民公募で決まった。本施設も公募になる可能性が高い。

事務局：他にご意見などがあれば、メールでお寄せ頂きたい。

< (5) 基本構想第 1 章構成案について【資料 4】 >
事務局より、第 1 章構成案の概要を説明。

会議の内容

副座長：3-1(2)の資料館利用状況を見ると、10年間で大人の利用者が減っている。要因は何が考えられるか。

事務局：かつて隣の敷地に建っていた市民会館が移転したことが原因の一つと考える。大きな公演の待ち時間に訪れていた方もいた。また、ここ数年の消防署の建設工事中、郷土資料館の存在感が弱まり、駐車場が通りの向かいに移ったことも影響したと考える。

副座長：小学生は郷土資料館を利用することが望ましいが、八王子市は広く、立地的に市内全域から来られない。駅から遠いので、足が無いのが大きな課題では。

事務局：カリキュラム上、学校見学が同じ時期に来やすい。また、スペース不足でお断りする件も出ている。レクチャールームも無い。展示室も1階と2階で説明すると声が聞こえてしまう。

副座長：回遊性と密閉性が課題ということか。

参加者 E：平成 24-25 年度で利用者数が落ち込んでいるのは、市民会館移転が原因か。また、図書閲覧などの人数はあまり減っていないので、コアな利用者は減らず、ふらっと立ち寄る層が減ったということか。

事務局：その通りである。

参加者 E：埋文センターでは、スペース的には狭いが、午前中に3校来ると、グループ分けして回す。遺跡庭園も持っているので、屋外でも歴史を学べるスペースがあれば、大人数を回せるかもしれない。

副座長：埋文センターは、土器展示や散策コースがあったり、勾玉作りや火起こしなどの体験もある。郷土資料館も、子どもに歴史のロマンを感じさせる場になると良い。

参加者 F：文科省ではアクティブラーニングを重視しており、大学でも体験要素を積極的に取り入れる必要がある。小学生が楽しめるものは大学生も楽しめる。幅広い層を取り込めることが重要と考える。

参加者 G：1-2の郷土資料館の沿革で市民が参加できる場とあるが、八王子の歴史は市民が興味を持っていると思う。ガイドボランティアが活動したり、古文書研究などの活動成果を発表できる場は資料館にあるのか。今年、八王子の空襲体験者に話を聞く機会があり感動した。市民参加の場を沢山作って頂きたい。

参加者 C：カルタを作ったり、年表を作成・展示したり、北条氏照研究会があったり、紙芝居も作っている。

参加者 C：3-1の郷土資料館の現状と課題は、これからの2、3章に解決策を提示する布石になる。バリアフリー対応なども書いてはどうか。

参加者 A：課題は沢山あると思う。視聴覚系展示が無い。バリアフリーとしても、車イス以外の目や耳が不自由な人、外国人など、全体を考えることも重要。今後盛り込む必要がある。

副座長：時間になってしまったので、お気づきの点は事務局に送って頂きたい。

会議の内容	<p>事務局：ぜひお寄せ頂きたい。お送り頂きたい日程は、別途お知らせする。</p> <p><(6)その他></p> <p>事務局：先日の検討会参加者依頼状交付式で問い合わせがあった、収蔵施設（旧稻荷山小学校、埋蔵文化財整理室等）の視察を行う予定。後日、日程調整を行いますので、可能な方は出席頂きたい。</p> <p>また、第2回検討会は8月31日（水）18:30～20:30 駅前のクリエイトホール 10階第5学習室で開催する。専用駐車場が無いので了承頂きたい。</p> <p>副座長：これにて第1回検討会を閉会する。ありがとうございました。</p>
-------	---